

平成26年度あんしんケアセンター運営事業実績一覧

区	センター名	高齢者人口	高齢化率	取り組みのポイントと各あんしんケアセンターの評価
中央区	新千葉	9,102	23.54%	地域諸団体や民生委員等への情報提供や、勉強会・交流会を開催し地域課題や問題意識の共通理解を深めることができ、また顔の見える関係や円滑な相談にもつながっています。出前講座や活動支援の依頼も増加しており、情報提供のみではなく、情報収集の場としても早期介入の契機に役立っています。【課題】中学校地区単位での「地域ケア会議」の開催が出来なかったことが、次年度の課題です。
	中央	7,565	18.05%	圏域内で事例の見立てや連携する力を養う研修を行い、今までなかなか参加できなかったケアマネジャーも参加するようになり、圏域内全体のスキルアップが図られていると思います。また区の研修では、区内病院の医療ソーシャルワーカーとグループワークを行うことができ、医療との連携の第一歩となりました。【実績】介護予防サークル活動の一環として機能訓練指導員に講師を依頼し、体操指導を実施することが出来ました。
	千葉寺	6,942	22.02%	独居世帯及び高齢者世帯に対しアンケートを実施することにより、細かなニーズを民生委員と共有することができ、適切な支援に繋げることができました。また関係機関と連携しての問題解決や、行事参加を通して関係性を深めることができました。【実績】二次予防事業又は教室の卒業生による自主グループ「元気かい？」に参加し、体操指導を行いました。
	松ヶ丘	9,869	25.85%	地域住民、民生委員、社会福祉協議会、町内会の方々と連携し、地域活動に積極的に参加することで、あんしんケアセンターの周知活動を行い、地域の高齢者の把握に努めました。その成果として、地域の方たちとの介護予防教室開催への土台を作ることができ、27年度以降の開催につながっています。【課題】教室への参加を募りましたが、圏域から遠いことや交通費がかかる等で十分な参加者を集めることができませんでした。
	蘇我	10,823	21.15%	認知症サポーター養成講座を自治会単位で積極的に開催し、認知症に優しい地域づくりに取り組むことができました。講演会後のアンケートでも認知症を課題であるとあげている方が多く、関心の高まりを感じており、これからも積極的に講座を開催していこうと考えています。【実績】圏域内の銀行職員を対象に認知症サポーター養成講座を行ったところ、銀行から金銭管理が難しくなっている1人暮らしの高齢者等に関する相談が入るようになりました。
花見川区	こてはし台	9,127	31.60%	今まで活動が出来ていなかった地域にて、ミニ講座等を開催することができました。また地域から講座開催の依頼が入るようになったので、積極的に取り組んでいます。相談者のニーズに合ったサービス等を選んでいただけるよう、新しい事業所への見学を行い情報収集を行っています。【実績】ミニ講座を開催し、今まであまり相談がなかった民生委員から、相談が入るようになりました。
	花見川	10,909	32.76%	インフォーマルな情報を収集していくことに力を入れました。これによって相談者に対する情報提供をスムーズに行うことができるようになったと感じています。教室や地域サロンの活動が継続していけるようサポートを行っています。しかし圏域全体では地域格差があり、受入れ状況も異なるため、今後は一層の周知と推進が必要であると感じています。【実績】地域のケアマネジャーに対する支援として、虐待ケースについて個別相談や同行訪問を実施しました。
	花園	13,239	26.05%	頼りにされるあんしんケアセンターを目指して相談支援活動に力を入れて取り組みました。構築してきた関係機関や地域住民との協力を得て、今後は重点地域を定めて働きかけや訪問活動を行いたいと考えています。また「おしゃべり昼食会」を立ち上げ、継続することができました。【実績】民生委員児童委員定例会議にて、高齢者虐待発見の視点等について、作成した資料を基に発表を行うことができました。
	幕張	11,712	18.01%	「健康貯筋体操」を体験教室ではなく、複数回参加する教室として開催をしました。参加者が自身で振り返りできるような体力評価や運動の目的・効果について指導を行いました。参加者自身の参加意欲や運動継続意欲を引き出すことができるよう意識して、実施することができました。【実績】消費者被害について、危うい事例等を圏域内の居宅介護支援事業所へFAXし、注意喚起を促しました。
稲毛区	山王	11,329	27.26%	社会福祉協議会、千葉市生活自立・仕事相談センター、消費生活センター、認知症疾患医療センター等とネットワーク構築のための会議や、共同での活動を行うことで更なる連携を図ることができました。また地域活動や広報誌の配布などによる啓発活動を行い、介護予防活動参加者の掘り起こしにつなげることができました。【実績】事業者向けに、対人援助技術の研修会を開催しました。
	天台	11,137	25.32%	地域で安心して暮らし続けられるよう、地域住民との関わりを持ち、地域ごとの課題を抽出して介護保険やインフォーマルサービスの情報提供を行うことができました。より一層インフォーマルな社会資源の発掘が必要であると感じています。【実績】体操教室「い〜ねの会」を立ち上げ、体操教室とボランティア育成を行うことができました。
	小中台	8,598	21.30%	地域のニーズに応じ、講座や支援を実施することができました。若年性認知症については、認知症疾患医療センターとの連携も十分に図ることができました。【課題】閉じこもり高齢者への働きかけを行いました。介護予防教室への参加に繋げることは出来ませんでした。
	稲毛	6,172	20.21%	実態把握では、戸別訪問を積極的に行い生活課題の把握を行うことで、個々に応じた支援内容を検討することができました。また有料老人ホームを中心に施設職員と稲毛区内のあんしんケアセンターの交流会やケアマネジャーの交流会を行い、顔の見える関係作りを強化することができました。今後は困難事例などに対応できるよう体制の強化に努める必要性があると感じました。【実績】あんしん新聞を毎月発行し、51か所の圏域内掲示板に掲示。また回覧版や介護予防教室で配布することができました。
若葉区	みつわ台	8,963	25.06%	介護予防教室の中心的役割を担う参加者を決定することができ、住民主体の教室へと移行することができました。また二次予防事業教室の参加希望者を募り、普及活動として一定の効果をあげることができました。【実績】介護予防教室「元気フレンド」は中心的役割を担う市民主体に移行することができました。
	桜木	14,024	23.44%	認知症サポーター養成講座では、今年度初めて高校生対象の講座を開催することができました。H27年3月には桜木小学校を訪問して、H27年度の開催に繋げることはできませんでした。またシリーズ研修として開催した「ケアとキュアの基礎固め」は次年度も引き続き開催することが決まり、効果があげられるよう取り組んでいきたいです。【実績】「元気で長生きを目指そう会」や「ますます元気になるう会」等のサークル活動を定期的に実施することができました。
	千城台	11,928	32.26%	センター主催の二次予防事業修了者支援を目的とした「いきいきかがやきクラブ」の立ち上げを実施。安定した開催を行うことができましたが、センター職員の関与が強いため、今後は早期に自主サークル活動へ移行することと、新たな教室立ち上げを行うことが課題となっています。【実績】近隣高校のミニ集会に参加し、あんしんケアセンターの周知活動と認知症サポーター養成講座についての説明を行いました。今後も学生対象に認知症サポーター養成講座の開催が出来るよう周知していきたいです。
	大宮台	7,623	42.20%	困難なケースは、高齢障害支援課や社会福祉協議会、健康課、民生委員等の関係機関と地域ケア会議を開催し、役割を明確にし情報共有を行いました。関係機関と顔の見える関係を築けているので相談しやすい関係性であり、適切な対応を行うことができています。【課題】サークル活動におけるリーダーを育成していますが、高齢化率が高く特に男性のグループリーダーが育っていない現状があります。
緑区	鎌取	8,063	13.49%	「自助」として介護予防教室への参加を促し、「互助」としてサロンの活性化や見守り活動を推進させ、「共助」の適切な利用としてケアマネジャー支援を行い、セーフティネットとして「公助」の活用を促すなど、地域包括ケアシステムの基礎の推進に努めることができました。体制作りは地区によって積極性に大きな違いがあり、年単位で地区ごとに検討していく必要があると感じています。【実績】認知症サポーター養成講座を、圏域内の銀行職員、小学6年生、介護サービス事業所職員に対し実施することができました。
	誉田	5,737	26.74%	「オレンジカフェ」を開催し、地域で暮らす認知症の方とも家族の交流を図っています。参加者はそう多くはありませんが、常連の方を中心に認知症への理解を深めたり、気分転換を図ることができている様子です。今後も交流が図れるよう支援を行っていきます。【課題】地域特性として、社会福祉協議会や町内会の活動は長く続き参加者も多い状況ではありますが、新しい活動やNPOの組織等がほとんどない現状があります。
	土気	10,894	23.93%	地域にある様々な会合等へ出向くことで、地域の関係者との顔の見える関係づくりが行えました。また関係ができたことで、関係者からの紹介で相談につながったケースも多くあり、相談件数も増加しています。医療・介護・予防・生活支援・住まいが一体的に影響されるシステム構築へ向けて、引き続き関係機関と連携を深めていきます。【実績】緑区あんしん3センターにて医療ソーシャルワーカーとの意見交換会を実施。医療・介護連携の土台となる、顔の見える関係作りを行うことができました。
美浜区	真砂	7,279	25.49%	総合相談件数が着実に増えており、圏域の高齢者の増加もさることながら、あんしんケアセンターの周知が進んだことも一因であると感じています。また独居高齢者の多い地域にサロンやラジオ体操の自主活動が根付いたことは成果であったと思います。【実績】「サロンぐるり」を月に1回開催し、介護予防講座や仲間作りの場として機能することができました。
	磯辺	10,946	19.52%	二次予防事業への参加に繋がった数は昨年度とほぼ横ばいであり、参加終了後の一次予防としての取り組みの継続支援も課題であると感じました。【実績】26年7月より、認知症家族交流会を立ち上げ、2か月に1回の頻度で定期開催することができました。初回は5人の参加でしたが、その後参加人数は増加しています。
	高洲	10,804	24.83%	開始したラジオ体操が順調に行われており、圏域内の他の地域でも運動、コミュニケーション、閉じこもり予防につながっています。今後他の場所でも行い予防の推進を図っていく中で、ボランティアの育成、支援が課題であると感じました。【実績】センター作成の社会資源を記した「サポートブック」を随時更新し、圏域のケアマネジャーに配布することができました。
	幸町	5,392	25.73%	民生委員定例会に参加し情報共有を行うことで、民生委員からの相談件数が増え、より一層連携を取りながら対応することができました。また認知症サポーター養成講座の開催により、学生や地域住民、金融機関、区職員に対し認知症に関する理解を深めることができました。【実績】いきいきサロン参加者対象に、ロールプレイを取り入れた消費者被害防止講座を開催しました。

※高齢者人口及び高齢化率は平成26年12月31日現在